

国際広報メディア・観光学専攻

国際広報メディア研究コース

令和7年度
後期

日本語論述

10:00～12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
2. 問題紙はこの紙を含めて2枚ある。
3. 解答用紙(25 字×40 行=1000 字)は2枚ある。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出すること。
5. 受験番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 選択した問題番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
7. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
8. 下書き用紙は別途配布されるが、問題用紙の余白を下書きに使用しても差し支えない。
9. 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題 1～4 のうちから 1 題を選択し、1600～2000 字の日本語(横書き)で記述しなさい。なお、適当な箇所で改行して段落に分けること。また、字数は改行のための空を含めて計算する。

【問題1】

メディア上のコミュニケーションにおけるステレオタイプ(多くの人が共有する固定的な思い込み、先入観)の流布は古くから指摘されている問題である。では SNS に代表される今日のインターネット・メディアは、かつてのメディア(たとえばマス・メディア)と比べてステレオタイプの流布を助長するだろうか、あるいは軽減するだろうか。あなたの考えについて、具体例を挙げつつ理由とともに論じなさい。

【問題2】

インフルエンサーと呼ばれる個人(もしくは集団)が SNS において勧める商品が、フォロワーによって大量消費される場合がある。この現象についてあなたの考えを論じなさい。

【問題3】

インターネットや SNS がそれほど普及していなかった時代、旅行の情報源としてはガイドブックや旅行雑誌など紙の媒体が重要だった。現在多くの人がインターネットや SNS から旅行の情報を得るが、ガイドブックや旅行雑誌もまだ残っている。ガイドブックや旅行雑誌から得る旅行の情報とインターネットや SNS から得る旅行の情報にはどのような違いがあり、旅にどのような影響を与えるかを論じなさい。

【問題4】

最近は海外旅行などで言葉を知らない土地に行っても、翻訳アプリや翻訳機を使い現地の人とコミュニケーションを取ったり、メニューや看板、説明などの表示をそのまま翻訳したりできるようになった。こうした翻訳技術によって現地の人とのコミュニケーションや関係形成がどのように変化するかについて論じなさい。